

平成27年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
公民	現代社会	2	1	高校現代社会【実教出版】	最新本質が見えてくる現代社会資料集 2015（第一学習社）

到達目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立ち、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断し考える力の基礎を養う。 18歳で投票所に足を運び、有権者としての判断力を持った行動が出来る市民を育む。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見出す。 社会的事象の本質や人間としての在りかた生き方について多面的多角的に考察する。 社会の変化や様々な立場・考え方を踏まえ公正に判断する。 そのために諸資料やメディア、体験活動や広範な人々の聞き取りなどを通して収集した有用な情報も活用する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月	現代社会の諸課題 ①地球環境を考える ②科学技術の発達と生命	<ul style="list-style-type: none"> 私達の生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家や市民社会の成り立ちを理解する。 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 発表・課題・提出物
6月 7月	現代の国家と民主政治 日本国憲法と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立過程、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの原理について理解する。 日本国憲法をとりまく現状と様々な観点を理解する。 基本的人権の概念の成立過程と歴史的な発展過程、私達の生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かなどを考察する。 	
9月 10月 11月 12月	現代の経済社会と政府の役割 経済活動のあり方と国民福祉	<ul style="list-style-type: none"> 企業・家計・政府はどのような活動をしているのか、企業の社会的責任や中小企業の役割を理解する。 市場経済のしくみ、価格機構のはたらきについて理解する。 財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、具体的事例をあげて考察する。 労働者が憲法や法律で守られている理由を考え、雇用事情の変化や労働条件や労働環境を理解する。 消費者問題について具体的事例をあげて理解する。 明治時代以降、特に、第二次世界大戦後の日本経済を、国際経済の流れとともに理解する。 	
1月 2月	国際政治の動向 国際経済の動向	<ul style="list-style-type: none"> 国際政治の動向と国際安全保障、日本をとりまく安全保障環境などを理解する。 グローバル化が進む経済の動向を理解する。 国家間統合の流れを理解する。国家とは何かを考える中で民族紛争などもとりあげ、経済統合の意味を考察する。 	

平成27年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
公民	現代社会	3	3	高等学校現代社会【第一学習社】	最新本質が見えてくる現代社会資料集 2015（第一学習社）

到達目標	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立ち、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断し考える力の基礎を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見出す。 社会的事象の本質や人間としての在りかた生き方について多面的多角的に考察する。 社会の変化や様々な立場・考え方を踏まえ公正に判断する。 そのために諸資料やメディアなどを通して収集した有用な情報も活用する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	第1編現代社会の諸課題 1章地球環境を考える 第2編現代社会と人間としてのあり方生き方 1章青年期と自己形成 2章他者と共に生きる倫理 3章現代の国家と民主政治 4章日本国憲法と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> 私達の生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景に作られたのかを理解する。 日本国憲法の成立過程、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの原理について理解する。 日本国憲法の平和主義の特色と自衛隊、日本の安全保障について様々な立場からの意見があることを理解する。 自由権、社会権が私達の生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かなどを考察する。 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
9月 10月 11月 12月	6章現代の経済社会と政府の役割 7章経済活動のあり方と国民福祉	<ul style="list-style-type: none"> 企業・家計・政府はどのような活動をしているのか、企業の社会的責任や中小企業の役割を理解する。 市場経済のしくみ、価格機構のはたらきについて理解する。 財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、具体的事例をあげて考察する。 労働者が憲法や法律で守られている理由を考え、雇用事情の変化や労働条件や労働環境を理解する。 消費者問題について具体的事例をあげて理解する。 明治時代以降、特に、第二次世界大戦後の日本経済を、国際経済の流れとともに理解する。 	
1月	5章国際政治の動向 8章国際経済の動向	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化が進む経済の動向を理解する。 国家間統合の流れを理解する。国家とは何かを考える中で民族紛争などもとりあげ、経済統合の意味を考察する。 	

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
公民	公民演習	3年文系	2	『ウィニングコンパス倫理・政経/現代社会』 (とうほう) 『最新現代社会資料集』 (第一学習社) 自主教材

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 3年において全員が「現代社会」3単位を履修し、4大項目(現代社会の特質、環境と人間生活、現在の政治経済、国際社会と人類の課題)の説明に使用されている基本的な用語や概念の理解とそれらの定着を目指し、さらに本科目選択者はこれらを発展させ、「政治・経済」「倫理」の専門的内容とも連関をはかりながら、現代社会における政治、経済、国際情勢、文化、宗教、社会思想、マルチカルチャリズム、科学倫理、地球環境などについて、基本的な知識を得て、こうした問題を調査・分析する方法を身につけ、解決を促す知的態度を育てる。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> 授業への主体的な取り組みを重視する。 考えようとする課題に対して、適切な資料を選び、読み取り、仮説を説明するための根拠とすることができるよう、指導する。 教科「公民」に共通する基礎的な概念・理論の定着のため、問題演習を単元ごとに実施する。 センター入試科目「現代社会」、および「政治経済」「倫理」に対応できるように、問題演習を実施する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4	総論 1, 現代経済	1 授業指導計画の説明 1) 市場経済と企業 2) 財政、金融、景気変動 3) マクロ経済指標	・授業での取組状況 ・ワークシート ・基礎概念の問題演習 ・定期考査	[興味・関心] ・各単元について、身近な問題と捉え、関心をよせて、考えをまとめ、資料の収集にあたらうとしたか。
5				・各単元について、配布資料などからさらに深く知りたいという興味を示したか
6		4) 日本経済史 5) 日本経済の課題 6) 外国為替の仕組みと貿易 7) 経済のグローバル化	・授業での取組状況 ・ワークシート ・基礎概念の問題演習 ・定期考査	[思考・判断] ・各単元の論点を、配付資料の読解を通して的確に理解しているか
7				・課題に対して資料を読み取れるか。
8	2, 現代政治	1) 憲法の基本原則 2) 国民主権と議会制民主政治 3) 平和主義と日本の安全 4) 世論と政治参加 5) 地方自治と住民福祉	・授業での取組状況 ・ワークシート ・基礎概念の問題演習 ・定期考査	[技能・表現] ・単元の論点を具体的に示す資料を適切に選べたか
9				・考察した結果や経過を図表にするなど、表現法に工夫が見られるか
10	3, 国際社会と人類の課題	1) 国家主権と国際法 2) 国際連合と集団安全保障 3) 地域紛争の激化、テロと国際平和の推進に向けて	・授業での取組状況 ・資料収集 ・ワークシート ・基礎概念の問題演習 ・定期考査	[知識・理解] ・現代社会を理解するのに必要な基礎概念・理論に関する知識を習得できたか
11				・政治、経済事象は相互に深く関連しあっており、その認識理解には総合的な視点が求められることに気づいたか。
12	4, 日本・世界の宗教と思想	1) 源流思想 2) 日本の思想 3) 近代の思想		
1	5, 現代社会の倫理	1) 情報化社会と倫理 2) 高齢化社会と倫理 3) 地球環境と倫理	・授業での取組状況 ・レポート ・定期考査	